

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		公営住宅維持管理事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	大塚 勝己
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	宮崎 勝之
	施策の柱	57	公営住宅の充実			所属班	建築住宅班	(内線)	5266
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	公営住宅法・特定優良賃貸住宅の促進に関する法律・合志市営住宅 条例		
	一般	8	5	1	10158	法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公営住宅及び特定公共賃貸住宅の補修を行った。補修を要望するものからの連絡により実施した。消防用設備やエレベーターの保守管理を実施した。現在の入居者からは床や屋根、設備の修理の要望が多く、修繕費用が高額になってきている。今後も「合志市公営住宅等長寿命化計画」に基づき適正な維持管理を行っていく。
【業務の流れ】	入居者からの連絡により補修箇所を現地にて確認し、直接職員が補修、又は業者に補修を依頼した。
【主な予算費目】	旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・工事請負費・原材料費・備品購入費・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	入居者から台所及び風呂・トイレなど水周りや給湯器等の不具合による補修要望が多くあがってきている。また、水道の漏水関係の相談も多い。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	① 手段(主な活動) 5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
補修を必要とする入居者からの相談を受け、現地を調査確認のうえ補修を適時行った。また、除草作業や樹木管理の環境整備、エレベーターや消防設備の法定点検などの維持管理業務を適正に行った。	市営住宅の補修を要望する入居者からの連絡により、現地の確認を行い、長寿命化計画に基づき維持補修を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 修繕費・維持工事の件数	件	公営住宅(日向住宅1棟2戸)の解体撤去工事に伴う工事請負費の増
イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
住宅の補修を要望するもの。	ア: 必要な補修の要望件数	件
	イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
安全に住むことができる。	ア: 必要な補修が出来た割合	%
	イ:	
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
市営住宅に安全で快適な状態で居住できているかを判断するため、補修要望への対応を成果指標に設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア	件	79	87	80	74	80	80	80	80
	イ									
② 対象指標	ア	件	101	87	80	74	80	80	80	80
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投資	財源内訳	国庫支出金	千円	921	2,920		2,321			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	7,976	11,971	9,806	8,337	10,604	9,806	9,806
		繰入金	千円				1,047	793		
		一般財源	千円		2					
入費	(A) 事業費計	千円	8,897	14,893	9,806	9,384	13,718	9,806	9,806	9,806
	(A)のうち指定経費	千円	18	18	18	18	18	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	千円	4	5	4	4	4	4	4	4
量	正規職員従事人数	人	4	5	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	1,103	1,316	1,200	1,072	1,200	1,200	0	0
費	(B) 人件費計	千円	4,349	5,145	4,780	4,080	4,780	4,780	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,246	20,038	14,586	13,464	18,498	14,586	9,806	9,806

事務事業名	公営住宅維持管理事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 随時対応しているため達成。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 要望に対し現地を確認のうえ、必要に応じ随時補修を行うため目標達成は可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 必要に応じて補修をしているので、向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 老朽化による補修費用の削減を図るため、職員で出来る範囲での補修を行なっているので削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 すでに職員削減を行い、補修の外部発注を行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 入居者からの要望により、長寿命化計画に基づき補修を行なっているので公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 維持管理も含めた委託により、団体等へ移行可能と思われる。

3 評価結果の総括 (CHECK)

各施設の老朽化のため補修要望が増えてきており、費用が増加傾向にある。今後は公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に維持管理を行っていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					